

# 中学校から高等学校への支援情報の引継ぎについて

支援情報の引継ぎは、入学前に生徒の得意、不得意を進学先の高等学校の教員が理解し、高等学校においても適切な指導、必要な支援を受けることができるようにするための取組です。入学前に支援情報を引き継ぐことは、新しい環境で、安心して学校生活を送る準備となります。

## Q1 支援情報の引継ぎを行うとどのような効果がありますか。

A1 本人の得意なことを伸ばし、不得意なこと（困りごと）に対する適切な指導、必要な支援を受けることで、入学当初から新しい環境で安心して生活することができます。

### 【指導・支援、効果の例】

#### ①話を聞いて記憶することが苦手な生徒の場合

教員が黒板等に概要を書く

話を聞いていないと思われて注意されることがなくなり、自信が出てきた。



#### ②宿題や書類の提出締切期日を忘れがちな生徒の場合

本人が手帳等にメモすることを促す  
教員が締切日前日に本人に確認する

忘れ物が少なくなってきた。そのことで注意されることがなくなり、自信が出てきた。



#### ③友だちや教員とのコミュニケーションが苦手な生徒の場合

人とのコミュニケーションが苦手なことや  
教員の対応方法を教員間で情報共有する

周りの人の理解があつてよかった。

人と関わることに自信が出てきた。



#### ④夜、ゲーム等を止められず、生活リズムが崩れ欠席が多い生徒の場合

教員が基本的な生活習慣を整える方法を  
アドバイスする

登校する日が増え、単位取得につながり、進級することができた。



## Q2 引継ぎ資料にはどのようなものがありますか。

A2 引継ぎ資料とは、主に本人・保護者、中学校の教員、関係機関等と連携して作成した支援情報が記載された以下の3つのことです。

①「個別の教育支援計画」

②「個別の指導計画」

③「パーソナルファイル」※市町独自の支援ファイルを使っているところもあります。

★引継ぎ資料の作成について相談したい時は、地域の県立特別支援学校にお問い合わせください。

### Q3 支援情報が引き継がれた生徒はどのくらいいますか。

A3 令和元年度末では179名の生徒について支援情報が引き継がれています。  
平成26年度末から支援情報の引継ぎの取組を開始し、引継ぎの件数は増加傾向にあります。



令和2年3月現在

課程	H26末(試行)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末
全日制	40	50	96	100	126	132
定時制・通信制	16	36	32	34	44	47
合計	56	86	128	134	170	179

## 保護者の方へ

- ・ 支援情報の引継ぎは、本人の得意、不得意を進学先の高等学校の教員に事前に知ってもらい、理解や協力を得るものです。高等学校へどのような情報を伝えるのか中学校の担任と相談してください。
- ・ 支援情報の引継ぎによって、高等学校でも本人の特性を理解し適切な指導、必要な支援を受けることができます。支援情報の引継ぎは、入学当初から新しい環境で、安心して学校生活を送る準備となります。

## 中学校の先生へ

- ・ 支援情報の引継ぎは、進学先の高等学校の教員に生徒の特性を伝え、切れ目ない支援を行うための取組であることを、進学先が決定するまでに本人・保護者へ丁寧に説明してください。
- ・ 進学先決定後から3月末までの短期間ですが、進学先の高等学校の担当者と面談を行い、支援情報の引継ぎを行っていただきますようお願いいたします。



## 三重県教育委員会 特別支援教育課

連絡先 TEL 059-224-2961 FAX 059-224-3023

E-mail shienkyo@pref.mie.lg.jp